

令和3年度 生涯学習・社会教育関係職員研修事業パワーアップセミナー【実践編】・ 地域づくり人材育成セミナー 実施報告書 (HP版)

1. 日 時：令和3年8月26日（木）、27日（金） 13:00～15:40
2. 会 場：8月26日（木） 遊学館（山形市緑町1丁目2-36） 第1研修室
8月27日（金） 酒田市公益ホール（酒田市飯森山三丁目5-1） 中研修室
3. 対 象：・生涯学習・社会教育関係職員(公民館・コミセン職員、生涯学習・社会教育施設職員含む)
・首長部局の地域づくり関係職員（地域おこし協力隊員含む）、防災担当職員等
・地域づくり団体、NPO法人等関係職員 など
4. 講 師 等：北海道恵庭市総務部 前基地・防災課長 藤野 真一郎 氏
宮城県山元町防災拠点・山下地域交流センター(つばめの杜ひだまりホール)
所長 浅川 光喜 氏
ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦 氏
5. 申込者数：63名(村山：46名、庄内：17名) 出席者数：61名(村山：45名、庄内：16名)
出席率：96.9% (アンケート回収率：60.7%)

6. 日程

	◇受付 12:30～12:55	◇事務連絡 12:55～13:00
13:00～	◆講義①「災害に強い人づくり・まちづくり～社会教育・生涯学習の果たす役割」 講師：北海道恵庭市総務部 前基地・防災課長 藤野 真一郎 氏	
13:50～	◆事例提供「防災拠点としての社会教育・生涯学習施設の実態」 事例提供者：宮城県山元町防災拠点・山下地域交流センター(つばめの杜ひだまりホール) 所長 浅川 光喜 氏	
14:20～	休憩	
14:30～	◆講義②「防災・減災講座やイベントの企画と運営のポイント」 講師：ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦 氏	
15:35～	諸連絡・アンケート記入	
15:40	終了	

7. 主 催 公益財団法人山形県生涯学習文化財団 山形県教育委員会

8. 当日の様子

◆講義①「災害に強い人づくり・まちづくり～社会教育・生涯学習の果たす役割」

講義①では、13年間社会教育課で社会教育主事として勤めたご経験を活かしながら、基地・防災課長として北海道胆振東部地震の災害対応や、市内各地域での住民主体の避難所運営マニュアル作成(防災学習会)などに携わってこられた藤野氏より、社会教育的な事業としての防災取り組みについて事例を交えながらご講義をいただきました。

藤野氏からは「いざという時に行動が伴わない学びでは不十分。防災学習会で本当の学びができたかどうかは、その地域で主体的な行動が生まれたかどうかで初めて評価できる。そしてその地域の方々の主体的な行動を意図的につくっていくことが社会教育の醍醐味。防災には地域の人たちとの学び合い、社会教育や生涯学習の視点が重要。防災という地域課題に対して、いろいろなアプローチを行い、学び合うというプロセスを地域の方と共に作り上げていくことが社会教育関係職員の役目であり、社会教育の面白いところ」など、地域防災に社会教育や生涯学習事業が果たす役割や、社会教育関係職員の心構えなどについてお話をいただきました。

参加者の声

- ・社会教育はどの部署や分野においても活用できるということで、その通りだと思った。現在、社会教育の現場で地域の方との関わり方や地域づくりを経験し、活かしたいと思いました。
- ・社会教育の経験を活かした地域防災の変容にとっても興味が湧きました。地域が主体的に動くためのアプローチやプロセスが重要と感じました。
- ・社会教育は人とのつながりであると学んだが、防災で一番大切なことも人とのつながりであると思った。地域づくり活動を通して、地域の活性化や防災についての学びも深まっていくということも感じました。

◆事例提供「防災拠点としての社会教育・生涯学習施設の実態」

東日本大震災の経験を踏まえ、災害時は被害の軽減と避難者の安全を確保する"地域防災の拠点"として、平常時は"地域の交流と活力を創造する拠点"として、【災害対策】【交流】【学習】の3つの機能を兼ね備えた施設である宮城県山元町防災拠点・山下地域交流センターの浅川所長より、施設の実態についてお話をいただきました。

参加者の声

- ・最新の防災設備を学べた。災害時にどのように動くかなどまで考えられていてすばらしい施設と思いました。
- ・あれだけの震災を経験し、そこから学んだことを今に生かし、様々な特色を取り入れた交流センターを作られたこと、とても興味がわきました。現状の施設を利用しつつ、住民の防災意識を高めに行けるように考えていかないといけないと思いました。
- ・コミセンも地域の指定避難所であるため、一度見学したいと思いました。

◆講義②「防災・減災講座やイベントの企画と運営のポイント」

講義②では、防災・減災講座やイベントの企画と運営のポイントについて、ウェザーハート災害福祉事務所代表の千川原氏よりご講義をいただきました。千川原氏からは「防災講座等を企画する際に大事なのは実施の背景や目的。参加対象者はどんな方たちで、講座の最後には参加者にどうなっていてほしいのかという軸になる部分が最も大事」というお話をいただいた後、企画者が悩むポイントである講師選定や、公民館やコミセン等で行える様々な研修例について情報提供をいただきました。

参加者の声

- ・防災に関することは地区でも行ってありますが、どんな講義・講師を呼んだらいいかわからないので、非常に参考になりました。
- ・地域で実践できる、したくなる内容でした。身近だけれども他人事のようなところがあったので、継続的に取り入れ、住民の方への意識づけができればと思いました。
- ・イベント事例が大助かりでした。来年度からの事業にも活かしていきたい。
- ・防災訓練がコロナにより希薄化しているのを体感するので、今回の手法を地域で実践していきたい。



講義①（藤野氏）



事例提供（浅川氏）



講義②（千川原氏）



会場参加者のようす